

障害物回避を補助する道路除雪支援システム一式の購入 入札申請関係書類

- ① 入札公告（写し）
- ② 入札説明書
- ③ 仕様書
- ④ 仕様確認書、入札内訳書
- ⑤ 仕様等に関する質問書
- ⑥ 提出書類等の注意事項
- ⑦ 契約書（ひな型）
- ⑧ 誓約書（2種類）
- ⑨ 兵庫県内に有する事業所等に関する申告書
- ⑩ 誓約書（契約保証金の免除についての誓約書）

< 担当 >

兵庫県出納局物品管理課 物品班 久佐賀

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL 078-341-7711（内線4937）

入札公告

次のとおり一般競争入札に付す。

令和6年7月19日

契約担当者

兵庫県知事 齋藤元彦

1 調達内容

(1) 調達物品及び数量

障害物回避を補助する道路除雪支援システム 一式（詳細は仕様書のとおり）

(2) 調達物品の特質等

調達物品の性能等に関し、契約担当者が入札説明書で指定する特質等を有すること。

(3) 納入期限

令和6年11月30日（土）まで

(4) 納入場所

但馬県民局豊岡土木事務所 他2箇所（詳細は仕様書のとおり）

(5) 入札方法

上記(1)の物品について入札に付する。

落札決定に当たっては、入札金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額で入札すること。

なお、本件は、兵庫県物品電子入札共同運営システム（以下「電子入札共同運営システム」という。）の利用による入札（以下「電子入札」という。）及び開札手続を行うものとする。

2 一般競争入札参加資格

(1) 物品関係入札参加資格者として、兵庫県（以下「県」という。）の物品関係入札参加資格（登録）者名簿に登録されている者又は登録されていない者で開札の日時までに物品関係入札参加資格者として認定された者であること。

(2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に基づく県の入札参加資格制限基準による資格制限を受けていない者であること。

(3) 県の指名停止基準に基づく指名停止を、参加申込の期限日及び当該調達の入札の日において受けていない者であること。

(4) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立て及び民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなされていない者であること。

(5) 兵庫県内に事業所を有する者であること。県の入札参加資格者名簿の「取引を希望する支店・営業所等」に兵庫県内の事業所を登録していない者は、参加申込時に「兵庫県内に有する事業所等に関する申告書」を提出すること。

3 入札の参加申込及び入札の方法等

(1) 契約条項を示す場所、入札説明書の交付場所及び問い合わせ先

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

兵庫県出納局物品管理課 担当 久佐賀

電話(078)341-7711 内線4937 F A X (078)362-3928

(2) 参加申込の期間及び申込方法

令和6年7月19日（金）から同月25日（木）まで（兵庫県の休日を定める条例（平成元年兵庫県条例第15号）第2条第1項に規定する県の休日（以下「県の休日」という。）を除く。）の毎日午前9時から午後8時まで（同月25日（木）は午後4時までとする。）に、電子入札共同運営システムにより行うこと。

(3) 契約条項を示す期間及び入札説明書の交付期間

令和6年7月19日（金）から同月25日（木）まで（県の休日を除く。）の毎日午前9時から午後4時まで（正午から午後1時までを除く。）

(4) 開札の日時及び場所

令和6年8月1日（木）午前11時 出納局物品管理課

(5) 入札書の提出期間

電子入札により、令和6年7月30日（火）午後5時から同年8月1日（木）午前11時まで（県の休日及び午後8時から翌日の午前9時までを除く。）に行うこと。

4 仕様確認について

(1) この一般競争入札に参加を希望する者は、入札しようとする物品の仕様書との適合性について、次により必ず確認を受けること。

ア 受付期間

令和6年7月19日（金）から同月25日（木）まで（県の休日を除く。）の毎日午前9時から午後4時まで（持参の場合は、正午から午後1時までを除く。）の間に提出すること。

なお、電子入札共同運営システムによる場合は、令和6年7月19日（金）から同月25日（木）まで（県の休日を除く。）の毎日午前9時から午後8時（令和6年7月25日（木）は午後4時までとする。）の間に提出すること。

イ 受付場所 前記3(1)に同じ。

ウ 提出書類

仕様確認書

仕様書に適合することがわかるカタログ等

エ 提出方法 電子入札共同運営システム、持参又はFAXにより提出すること。

オ 確認の結果 令和6年7月30日（火）午後5時までに、入札者に通知する。

(2) 入札者は、開札日の前日までの間において、契約担当者から上記(1)ウの提出書類に関し説明を求められた場合は、それに応じること。

(3) 入札者は、上記(1)オで認められた物品にかかる金額で入札すること。

5 その他

(1) 契約手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

(2) 入札保証金

契約希望金額（入札金額に消費税及び地方消費税相当額を加算して得た額）の100分の5以上の額の入札保証金を納付しなければならない。ただし、次の場合は入札保証金の納付を免除する。

ア 保険会社との間に県を被保険者とする入札保証保険契約を締結し、その保険証書を入札保証金に代えて提出するとき。

イ 国（公社・公団を含む。）、地方公共団体等との間における契約の締結及び履行の実績、経営の規模及び状況その他の状況から、その者がその契約を締結しないこととなる

おそれがないと認められるとき。

(3) 契約保証金

契約金額の100分の10以上の額の契約保証金を契約締結日までに納付しなければならない。ただし、保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結しその保険証書を契約保証金に代えて提出する場合、「誓約書（契約保証金の免除についての誓約書）」を提出する場合、契約金額が200万円以下の場合等は、契約保証金を免除する。

(4) 入札に関する条件

ア 入札は、所定の日時までに電子入札をすること。

イ 同一事項の入札において、他の入札者の代理人を兼ねた者又は2人以上の入札者の代理をした者の入札でないこと。

ウ 連合その他の不正行為によってされたと認められる入札でないこと。

エ 再度入札に参加できる者は、初度の入札に参加して有効な入札をした者であること。

(5) 入札の無効

本公告に示した一般競争入札参加資格のない者のした入札、仕様を満たさない物品にかかる入札、提出書類に虚偽の内容を記載した者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は、無効とする。

(6) 契約書作成の要否

要作成

(7) 落札者の決定方法

入札説明書で示した物品を納入できると契約担当者が判断した入札者であって、財務規則（昭和39年兵庫県規則第31号）第85条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。

(8) その他

詳細は、入札説明書による。

入札説明書

障害物回避を補助する道路除雪支援システム一式の購入に係る一般競争入札（以下「入札」という。）の実施については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 入札に付する事項

- (1) 調達物品及び数量
障害物回避を補助する道路除雪支援システム 一式（詳細は仕様書のとおり）
- (2) 調達物品の規格、品質、性能等
別添仕様書のとおり
- (3) 調達物品の条件等
別添仕様書のとおり
- (4) 納入期限
令和6年11月30日（土）
- (5) 納入場所
但馬県民局豊岡土木事務所 他2箇所（詳細は仕様書のとおり）

2 入札参加資格

入札に参加できる者は、次に掲げる要件を全て満たしていることについて、契約担当者による確認を受けた者であること。

- (1) 物品関係入札参加資格者として、兵庫県（以下「県」という。）の物品関係入札参加資格（登録）者名簿（以下「名簿」という。）に登録されている者であること。
ただし、名簿に登録されていない者であって、既に兵庫県電子入札共同運営システム（以下「電子入札共同運営システム」という。）に対応している認証局の電子証明書を取得している者が、入札参加を希望し物品関係入札参加資格者の認定を求める場合は、令和6年7月25日（木）午後4時までに、所定の物品関係入札参加資格審査申請書に係る書類を添えて4(1)イに記載する受付場所へ持参して、入札参加資格の随時審査を受けること。
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に基づく県の入札参加資格制限基準による資格制限を受けていない者であること。
- (3) 県の指名停止基準に基づく指名停止（以下「指名停止」という。）を、一般競争入札参加申込書兼競争参加資格確認申請書（別紙様式第2号。以下「申込書」という。）の提出期限日及び当該調達の入札の日において受けていない者であること。
- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立て及び民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなされていない者であること。
- (5) 兵庫県内に事業所を有する者であること。県の入札参加資格者名簿の「取引を希望する支店・営業所等」に兵庫県内の事業所を登録していない者は、参加申込時に「兵庫県内に有する事業所等に関する申告書」を提出すること。

3 入札参加の申込み

- (1) 参加申込
電子入札共同運営システムにより行うこと。
- (2) 参加申込の期間
令和6年7月19日（金）から同月25日（木）まで（兵庫県の休日を定める条例（平成元年兵庫県条例第15号）第2条第1項に規定する県の休日（以下「県の休日」という。）を除く。）の午前9時から午後8時まで（令和6年7月25日（木）は午後4時までとする。）
- (3) 入札参加資格の確認
ア 入札に参加できる者の確認基準日は、前記(2)の最終日とする。
イ 入札参加資格の有無については、提出のあった申込及び関係書類に基づいて確認し、その結果を令和6年7月30日（火）午後5時までに電子入札共同運営システムにより通知する。
- (4) その他

- ア 申込書、関係書類の作成及び提出に係る費用は、申込者の負担とする。
- イ 提出された申込書及び関係書類は、入札参加資格の確認以外には、申込者に無断で使用しない。
- ウ 提出された申込書及び関係書類は、返却しない。
- エ 申込書の提出期限日の翌日以降は、申込書及び関係書類の差し替え又は再提出は認めない。

4 仕様確認及び仕様書等に関する質問

- (1) 入札に参加を希望する者は、入札しようとする物品の仕様書との適合性について、次により必ず確認を受けること。

また、仕様書等交付書類に関して質問がある場合は、次により質問書を提出すること。

ア 受付期間

令和6年7月19日（金）から同月25日（木）まで（県の休日を除く。）の毎日午前9時から午後4時まで（持参の場合は、正午から午後1時までを除く。）の間に提出すること。

電子入札共同運営システムによる場合は、令和6年7月19日（金）から同月25日（木）まで（県の休日を除く。）の毎日午前9時から午後8時（令和6年7月25日（木）は午後4時までとする。）の間に提出すること。

イ 受付場所

兵庫県出納局物品管理課（兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1）

電話番号(078)341-7711 担当 久佐賀（内線4937） F A X (078)362-3928

ウ 提出書類

(ア) 仕様確認

仕様確認書

仕様書に適合することがわかるカタログ等

(イ) 質問

仕様等に関する質問書

エ 提出方法

電子入札共同運営システム、持参又はF A Xにより提出すること。

オ 確認の結果

令和6年7月30日（火）午後5時までに、入札者に通知する。

- (2) 入札者は、開札日の前日までの間において、契約担当者から上記(1)ウの提出書類に関し説明を求められた場合は、それに応じること。

- (3) 入札者は、上記(1)オにより承認された物品にかかる金額で入札すること。

5 契約手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

6 契約条項を示す場所及び日時

兵庫県出納局物品管理課

令和6年7月19日（金）から同月25日（木）まで（県の休日を除く。）の毎日午前9時から午後4時まで（正午から午後1時までを除く。）

7 開札の場所及び日時

- (1) 場所 出納局物品管理課

- (2) 日時 令和6年8月1日（木）午前11時

8 入札書の提出方法

電子入札共同運営システムを利用し、令和6年7月30日（火）午後5時から同年8月1日（木）午前11時まで（県の休日及び午後8時から翌日の午前9時までを除く。）に入札を行うこと。

9 入札書の作成方法

- (1) 電子入札共同運営システムにより入札する。

- (2) 金額については日本国通貨とし、アラビア数字で表示すること。
- (3) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- (4) 入札執行回数は、2回を限度とする。
- (5) 一度提出した入札書は、これを書き換え、引き換え又は撤回することはできない。

10 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金

契約希望金額(入札金額に消費税及び地方消費税相当額を加算して得た額)の100分の5以上の額を、令和6年7月31日(水)正午までに納付しなければならない。ただし、次の場合は入札保証金の納付を免除する。

ア 保険会社との間に県を被保険者とする入札保証保険契約を締結し、その保険証書を入札保証金に代えて提出するとき。

保険期間は本件入札の参加申込後で、令和6年7月31日(水)以前の任意の日を開始日とし、令和6年8月9日(金)以降の任意の日を終了日とすること。

入札保証保険証書の保険金額が、契約希望金額(入札金額に消費税及び地方消費税相当額を加算して得た額)の100分の5未満であるときは、当該入札は無効となるので注意すること。

イ 国(公社・公団を含む。)、地方公共団体等との間における契約の締結及び履行の実績、経営の規模及び状況その他の状況から、その者がその契約を締結しないこととなるおそれがないと認められるとき。

(2) 契約保証金

契約金額の100分の10以上の額の契約保証金を契約締結日までに納付しなければならない。ただし、保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結しその保険証書を契約保証金に代えて提出する場合、「誓約書(契約保証金の免除についての誓約書)」を提出する場合、契約金額が200万円以下の場合等は、契約保証金を免除する。

11 無効とする入札

- (1) 前記2の入札参加資格がない者のした入札、仕様確認において承認された物品以外の物品にかかる入札、申込又は関係書類に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は、無効とする。
- (2) 入札参加資格のあることを確認された者であっても、入札時点において資格制限期間中にある者、指名停止中である者等前記2に掲げる入札参加資格のない者のした入札は無効とする。
- (3) 無効の入札を行った者を落札者としていた場合は、その落札決定を取り消す。

12 落札者の決定方法

- (1) 前記1の物品を納入できると契約担当者が判断した入札者であって、財務規則(昭和39年兵庫県規則第31号)第85条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。

(注) 予定価格には次の費用を含む。

- ① 入札物品の監督及び検査を受けるために要する費用
- ② 入札物品の納入に伴う包装、梱包及び輸送に要する費用
- ③ 入札物品にかかる関税及びその他輸入課徴金の経費

- (2) 落札者となるべき同価の入札をした者が2人以上ある場合は、電子くじによって落札者を決定する。
- (3) 予定価格の制限の範囲内の価格の入札がないときは、再度、別に定める日時において入札をする。
- (4) 再度の入札をしても落札者がいないとき又は落札者が契約を結ばないときは、随意契約による。

13 入札に関する条件

- (1) 入札は、所定の日時までに電子入札すること。
- (2) 入札保証金(入札保証金に代わる担保の提供を含む。)を求める場合、所定の日時までに提出されていること。ただし、入札保証金に代えて入札保証保険証書を提出する場合は、保険期間が令和6年8月9日(金)までであること。

- (3) 入札者又はその代理人が同一事項について2通以上した入札でないこと。
- (4) 同一事項の入札において、他の入札者の代理人を兼ねた者又は2人以上の入札者の代理をした者の入札でないこと。
- (5) 連合その他の不正行為によってされたと認められる入札でないこと。
- (6) 代理人が入札をする場合は、事前に承認された代理人に限る。
- (7) 再度入札に参加できる者は、次のいずれかの者であること。
 - ア 初度の入札に参加して有効な入札をした者
 - イ 初度の入札において、(1)から(6)までの条件に違反し無効となった入札者のうち、(1)、(4)又は(5)に違反して無効となった者以外の者

14 入札の中止等及びこれによる損害に関する事項

天災その他やむを得ない理由により入札の執行を行うことができないときは、これを中止する。また、入札参加者の連合の疑い、不正不穏行動をなす等により入札を公正に執行できないと認められるとき、又は競争の実益がないと認められるときは、入札を取り消すことがある。これらの場合における損害は、入札者の負担とする。

15 契約書の作成

- (1) 落札者は、契約担当者から交付された契約書に記名押印し、契約担当者に提出しなければならない。
- (2) (1)の契約書を提出しないときは、落札はその効力を失うことになる。
- (3) 契約書は2通作成し、双方各1通保有する。
- (4) 契約書の作成に要する費用はすべて落札者の負担とする。ただし、契約書用紙は交付する。
- (5) 落札決定後、契約締結までの間に落札した者が入札参加の資格制限又は指名停止を受けた場合は、契約を締結しない。

16 監督及び検査

監督及び検査は、契約条項の定めるところにより行う。
なお、検査の実施場所は、指定する日本国内の場所とする。

17 その他注意事項

- (1) 申込書又は関係書類に虚偽の記載をした者は、県の指名停止基準により指名停止される。
- (2) 入札参加者は、刑法、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律等関係法令を遵守し、信義誠実の原則を守り、いやしくも県民の信頼を失うことのないよう努めること。
- (3) 暴力団排除条例（平成22年兵庫県条例第35号）の趣旨を徹底し、暴力団排除を進めるため、契約者には、「ア 暴力団又は暴力団員に該当しないこと、イ 暴力団及び暴力団員と密接な関係に該当しないこと、ウ ア・イに該当することとなった場合は契約を解除し、違約金の請求等についても異議を述べないこと」を旨とする誓約書の提出を求める。

18 調達事務担当部局

〒650—8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5—10—1

兵庫県出納局物品管理課 担当 久佐賀（電話番号：(078)341—7711 内線4937）

障害物回避を補助する道路除雪支援システム
物品仕様書

兵庫県土木部道路保全課

第1条（適用）

本仕様書は、「障害物回避を補助する道路除雪支援システム」（以下「本システム」という。）に適用するもので、納入機器は下記に定める仕様を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐えうる十分な耐久性を有するものとする。

本仕様書に明記されていない箇所については支出負担行為担当官（以下「甲」という。）と物品供給人（以下「乙」という。）が協議のうえ決定するものとする。

第2条（目的）

本システムは、除雪車両に搭載するタブレット端末を使用し、地図や無積雪期の写真表示、障害物への接近を警告する警告音や音声（以下「警告音等」という。）により、オペレータや補助作業員（以下「オペレータ等」という。）を支援し、除雪作業の効率化や安全性向上を図ることを目的としている。

第3条（対象路線、対象車両）

本システムを導入する対象路線、対象車両等は次のとおりとする。

番号	対象路線	区間	延長	対象除雪車両		
				トラック	ドーザー	ロータリー
1	(国) 426号	円山大橋～乙女橋	12.2	1	—	—
2	(国) 178号 香住余部道路	佐津IC～余部IC	11.4	1	—	—
3	(主) 十二所澤線	浅野～長野	12.6	—	1	—
計			36.2km	2台	1台	0台

第4条（納期）

本システムの納期は、令和6年11月30日とする。

第5条（納品場所）

本システムを納品する場所および台数は、次のとおりとする。なお下記の表に示す番号は、第3条の表に示した番号である。

番号	事務所・担当課	住所	電話番号	納品数
1	但馬県民局 豊岡土木事務所 道路第2課	豊岡市幸町 7-11	0796-26-3752	1台
2	但馬県民局 新温泉土木事務所 道路第2課	美方郡新温泉町芦屋 522-4	0796-82-5688	1台
3	但馬県民局 養父土木事務所 道路第2課	養父市八鹿町下網場 320	079-662-2192	1台
計				3台

第6条（納入機器）

納入機器の数量、仕様、機器に搭載する機能については、次のとおりである。

(1) 納入機器の数量

タブレット端末（操作説明書、本システムを使用する上で必要なライセンスを含む）

3台

GNSS 受信機（操作説明書を含む） 3台

スピーカー（操作説明書を含む） 3台

その他関連機器 3セット

※タブレット端末の除雪車両への装着は本業務に含まない。

(2) 納入機器の仕様

① 共通

- ・タブレット端末、GNSS 受信機、スピーカーは、連動して作動するものを選定すること。

②タブレット端末

- ・タブレット端末は、下記仕様一覧に示す仕様と同等以上のものを選定すること。
- ・タブレット端末は、(3)の①から⑩に示す機能をセットアップしたものを納品すること。
- ・除雪作業中にシステムの各種表示が違和感なく行うことができ、必要な情報を保存できるメモリやストレージ容量を有したものとすること。
- ・重機の除雪作業時の振動に耐えられる強固で、かつ、タブレットの抜き差しが工具なしで容易に可能なタブレットホルダーを有すること。

タブレット端末 仕様一覧

項目	仕様	補足説明
機器名称	Windows10又は11タブレット 高堅牢型	
OS	Windows10 or Windows11	
CPU	Dual Core i5-5200 2.2GHz or 1.2Ghz Quad core	同等クラス
画面	10.1インチ	同等クラス
メモリ	4GB	同等以上
ストレージ	64GB	同等以上
インターフェース	USB Type A / Type C	同等以上
バッテリー	4100mAh	同等以上
環境性能	-10～50℃、防塵防滴=IP65準拠、対 ショック 米国MIL規格、高輝度液晶	同等以上
その他	付属バッグ、タッチペン	

③GNSS 受信機

- ・ GNSS 受信機は、下記の仕様一覧に示す仕様と同等以上のものを選定すること。
- ・ メーカー公称の計測位置精度が RMS 値で 1 m以内のもの（以下「サブメートル級」という。）とし、(3)の①から⑩の機能に対応可能な機器とする。

GNSS 受信機 仕様一覧

項目	仕様	補足説明
機器名称	みちびき対応マルチGNSS対応サブメートル級レシーバ	
捕捉信号	QZS L1-C/A, L1-SAIF (SBAS互換) GPS L1-C/A SBAS:MSAS	
精度	サブメートル級精度 L1-ASIF:0.9m CEP GPS:2.4m CEP	同等以上
電気特性	5.0V (USB給電、バッテリー給電)	同等以上
インターフェース	USB又はワイヤレス	同等以上

④スピーカー

- ・スピーカーは、下記仕様一覧に示す仕様と同等以上のものを選定すること。
- ・稼働中の重機室内でも十分に警告音等を聞き取ることができる音量のものとする
こと。
- ・Bluetooth 接続が可能なステレオスピーカーとすること。
- ・内蔵バッテリーは、使用に支障の無い程度の容量を有するものとする
こと。
- ・IP67 規格以上を満足し、防水、防塵性能を有するものとする
こと。

外部スピーカー 仕様一覧

項目	仕様	補足説明
機器名称	Bluetooth対応 外部スピーカー	
オーディオ出力	8W以上	同等以上
接続	Bluetooth or 有線	
バッテリー容量	連続8時間稼働可能	同等以上

⑤USB ポート

- ・タブレットのタイプに応じたものとする
こと。

⑥充電ケーブル

- ・シガーソケット USB 充電、もしくは AC コンバータ等を介した外部充電とする。

⑦タブレット保護フィルム

- ・タブレットのタイプに応じたものとする
こと。

⑧キャリーバッグ

- ・上記①～⑦を支障なく収納することができるものとする
こと。

⑨その他

- ・取扱説明書、保証書一式

(3) 納品機器に搭載する機能

① 各機能の全般に関する留意点

- ・各機能が連携して動作するようにシステムを構築すること。
- ・各機能が除雪車両の移動速度に対して違和感なく動作すること。

② 車両位置計測機能

- ・除雪作業中の除雪車両の位置をリアルタイムで計測できる機能を有すること。
- ・GNSS 受信機は、除雪車両のタイプと必要とする精度に応じ、交換装着が可能となる構造とすること。
- ・外部の有料位置補正サービスや外部の補助 GNSS 基地局は使用しないこと。

③ 地図表示機能

- ・タブレットに表示する地図は、GNSS の計測精度に見合った精度の地図データを既存のものから調達すること。
- ・地図は、道路、建物、河川等の位置と形状がわかるものとし、除雪車両の位置と除雪障害物等の除雪業務で必要となる情報が重ねて表示できるようにすること。
- ・除雪車両の現在地周辺を除雪車両の進行方向と地図画面の上方向が一致するように回転させ表示すること。
- ・必要に応じ、常に地図の上方向が北向きに表示する機能を有すること
- ・オペレータ等の見やすさに応じ、地図の縮尺をタブレット画面上からワンタッチで切り替えられるようにすること。
- ・夜間でも眩しくないように、地図の夜間表示モードを有すること。切り替えは画面上からワンタッチでシステム作動中に切り替え可能とすること。

④ 無積雪期写真表示機能

- ・タブレットに表示する無積雪期写真は、対象の3路線、36.2kmの範囲を上下線とも作成すること。写真データの収集は、現地での撮影を基本とする。
- ・タブレットには、各土木事務所管内の対象路線のデータのみ搭載すること。但し、同一土木事務所管内に過去に計測したデータがある場合は、それも併せて搭載すること。
- ・除雪車両の移動速度にあわせて、除雪車両の現在地周辺における無積雪期の道路状況がわかる写真を違和感なく表示すること。表示する写真は、除雪車両の前方とすること。
- ・片側2車線道路では、車線ごとの無積雪期画像を別々に分けて登録できる機能を有し、オペレータ等が、タブレット画面上からワンタッチで切り替えられるようにすること。
- ・無積雪期写真だけ、または地図だけ、または地図と無積雪期画像の同時表示をオペレータ等が画面上からワンタッチで切り替えられるようにすること。

⑤ 前方障害物等検知・接近警報機能

- ・ 予め地図情報に次の施設を登録し、接近検知・警報発信の対象とすること。

マンホール

マンホール型消火栓

止水弁

橋梁と道路のジョイント

横断側溝

障害となり得る排水溝

センターポール

踏切

- ・ 対象とする障害物情報は、対象の3路線、36.2kmの範囲を上下線とも作成すること。障害物情報の収集は、現地での測量を基本とする。
- ・ 接近警報は、警告音に加え、音声(マンホール、消火栓、ジョイント、注意等)による警告が選択可能とすること。
- ・ 接近警報として警告音等と同時に画面の色を変えるなど、視覚的にもわかるようにすること。

⑥ オペレータ等による障害物情報登録・修正機能

- ・ 除雪障害物の情報を、任意の位置に新たに独自に登録できる機能を有すること。登録した情報は、予め登録済みの情報と同様に、同じく検知・通報の対象とすること。
- ・ 登録済の障害物も含め、障害物が除去されたことに備え、オペレータ等がタブレット上から自ら障害物を削除できるようにすること。
- ・ 障害物ごとに警報音や音声をオペレータ等が変更できる機能を有すること。
- ・ 登録した情報に、必要な詳細情報のメモ書き、関連する画像やPDF情報をリンク張り付けできる機能を有すること。
- ・ 張り付けた画像情報・PDFは、オペレータ等がタブレット上から、システム作動中でも、ワンタッチで呼び出せるようにすること。

⑦ 障害物検知機能

- ・ 障害物を検知するエリアは、除雪車両の前方の一定の距離範囲、もしくはGNSSから得られる車速に応じた接近到達時間のどちらかを任意にオペレータ等が選択できるようにすること。
- ・ 除雪車両の操向をGNSSより判断し、検知エリアを操向する方向に拡大し、検知漏れを少なくする機能を有すること。

⑧ 編集機能

- ・個々の障害物情報について、位置の修正、検知・警報発信の対象とする／しない、障害物の説明、警告音等の種類、関連情報としてあらかじめ用意したPDF・画像形式のファイルの添付の付加等の編集ができるようにすること。また、これらは、オペレータ等がタブレット上から、修正できる機能を有すること。

⑨ バックアップ・コピー機能

- ・障害物情報など、すべての登録情報について、万一のタブレットの破損などに備え、バックアップデータを作成できる機能を有すること。
- ・また、作成したバックアップデータは外部ストレージを経由し、リストアでき、他の除雪支援システム端末にも反映できる機能を有すること。

⑩ ログ保存機能・再生機能

- ・システムが稼働した日時毎の走行軌跡をログデータとして保存する機能を有すること。
- ・ログデータをタブレット上で再生できる機能を有し、未熟練のオペレータ向けのトレーニングツールとして活用できる機能を有すること。

第7条 システムサポート

乙は、着手時に甲に「サポート実施体制表」を提出し、甲やオペレータ等からの問い合わせに対応するものとする。具体的な対応方法は、電話、メールとする。

また、甲が本システム操作中に単独で解決できない問題が発生した場合は、乙は誠意をもってその解決に努めるものとする。

乙は、オペレータ等、除雪業務の関係者を対象として、システムの操作説明会を開催するものとする。

乙は、タブレットやGNSS受信機、スピーカーに故障があった時は、予備機にて対応できる対応をとるものとする。

システムの障害受付や操作説明などを受け付ける対応窓口としてサポート体制を構築すること。サポート体制は原則として土日祝日を除く、午前9:00～午後5:00までとする。

第8条（その他の事項）

(1) 打合せ協議

本システムの納品を適正かつ円滑に行うため、甲・乙は綿密に打合せ協議を行い、乙はその内容を記録し、甲に提出すること。

(2) 損害賠償

乙は、本業務遂行中に第三者に与えた損害及び第三者から受けた損害については、乙の責任において処理解決すること。

(3) 秘密の保持

乙は本業務により知り得た情報および本業務にて得た成果等を漏えいしてはならない。また本業務内で得た各種情報、成果等について甲の許可を得ず公開・貸与・販売等をしてはならない。

(4) 物品供給人の義務

乙は、契約の履行にあたっては本業務の意図及び目的を十分に理解したうえで、本業務を実施しなければならない。

(5) 保証

納入後1箇年以内に納品された機器に欠陥が発生した場合には、乙は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間がある場合には、それを適用する。

特に重大な欠陥が発生した場合には、上記期間経過後であっても、甲と乙が協議の上、乙に無償修理を行わせる場合がある。

(6) システムの権利関係

本システム(プログラム、その関連資料、技術サービスに基づき将来提供される改訂版、その改良版を含む。) についての使用権等の取り扱いは以下のとおりとする。

① システムの所有権及び使用権

- ・本システムの所有権は全て乙に帰属するものとし、乙は、甲に対し本システムを事業遂行の目的だけに使用するための譲渡不能非独占的使用権を許諾することとし、甲は本システムの使用権を取得することとする。

② 使用権の譲渡等の禁止

- ・甲は、使用権に基づき再使用権を設定、あるいは第三者に譲渡し、又は本システムあるいはその複製物を第三者に譲渡転貸、占有の移転をしてはならない。
- ・また、本事業の地位を第三者に譲渡してはならない。

③ システムの変更

- ・甲は、本システムを無断で変更することはできない。但し、甲は自己使用のため必要な場合に限り、本システムを変更することができる。その際の別途経費が発生する場合については甲乙双方が十分協議し納得したうえで実施するものとする。

(7) データの著作権

本業務により作成・加工・変換する地図データおよび写真データ等の著作権は、乙またはリソースの著作権保有者が保有することとし、甲は契約端末台数分の使用権および使用許諾をもって使用するものとする。

(8) 参考文献等の明記

本システムに文献資料を引用する際は、著作権侵害等の問題を起こさないよう、しかるべき処理をしたうえで、その文献や資料等の名称を明記しなければならない。

(9) 運用条件

本システムは、第三者が提供する位置通信サービスや外部測量機器、有料地図を利用することなく運用可能なこととし、契約端末台数分の範囲において別途使用料等は一切発生しないものとする。

(10) 貸与資料

甲が乙に貸与する資料は、以下のものとする。

- ① 除雪車車両管理リスト(除雪対象車両個々の識別が確認できるもの)
- ② 除雪路線情報
- ③ 登録すべき道路上の障害物情報 (アスカーブ 等)
- ④ 登録すべき道路外の障害物情報 (投雪可能/不可エリア 等)
- ⑤ その他必要とされる資料

仕様確認書

会社名： _____

担当者名： _____

TEL： _____

FAX： _____

メールアドレス： _____

件名： 障害物回避を補助する道路除雪支援システム一式の購入

番号	品名	数量	メーカー	製品番号	単価(定価)	合計(定価)	備考
1	タブレット端末	3台				0	
2	GNSS受信機	3台				0	
3	スピーカー	3台				0	
4	その他関連機器	3セット				0	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
合計						0	

所定の事項について記載のうえ、入札公告及び入札説明書に記載の受付期間内までに提出してください。

メーカー、製品番号等を記入の上、仕様がわかるカタログ等を添付し、提出してください。

入札内訳書

会社名： _____
担当者名： _____
TEL： _____
FAX： _____
メールアドレス： _____

件名： 障害物回避を補助する道路除雪支援システム一式の購入

番号	品名	数量	メーカー	製品番号	単価	合計	備考
1	タブレット端末	3台				0	
2	GNSS受信機	3台				0	
3	スピーカー	3台				0	
4	その他関連機器	3セット				0	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
合計						0	

応札する物品のメーカー及び製品番号等、所定の事項について記載のうえ、入札時に提出してください。

太枠内の金額と、入札金額とが一致することをご確認のうえ、添付してください。

記入欄が不足する場合は適宜追加して記入願います。

提出書類等の注意事項

1 入札参加申込時（期限：令和6年7月25日（木）午後4時）

(1) 仕様確認に必要な書類

- ・ 仕様確認書
- ・ 仕様書に適合することがわかるカタログ等

(2) 県の入札参加資格者名簿の「取引を希望する支店・営業所等」に兵庫県内の事業所を登録していない者は、「兵庫県内に有する事業所等に関する申告書」も提出してください。

【提出方法】

一般競争入札参加申込時に電子入札共同運営システムへファイルを添付してください。

同システムには1ファイルしか添付できませんので、複数ファイルを送付される場合は圧縮等により1ファイルにまとめて提出ください。

なお、同システムに添付できなかった場合は、メールにて送付してください。

書面で提出する場合は、FAX又は持参により提出願います。

2 仕様に関する質問について（期限：同上）

令和6年7月25日（木）午後4時まで提出願います。提出方法は、上記1と同じです。

3 入札保証金の納付について（令和6年7月31日（水）正午締切）

入札保証金として契約希望金額（入札金額に消費税及び地方消費税相当額を加算して得た額）の100分の5以上の額を納付してください。

ただし、次の場合は入札保証金の納付を免除します。

ア 保険会社との間に県を被保険者とする入札保証保険契約を締結した場合は、その保険証書を提出してください。

保険期間は本件入札の参加申込後で、令和6年7月31日（水）以前の任意の日を開始日とし、令和6年8月9日（金）以降の任意の日を終了日としてください。

入札保証保険証書の保険金額が、契約希望金額（入札金額に消費税及び地方消費税相当額を加算して得た額）の100分の5未満であるときは、当該入札は無効となるので注意してください。

イ 2年以内の県との契約実績が物品管理課で確認できない場合は、別途送付する「納入実績報告書」に国（公社・公団を含む。）、地方公共団体等への納入実績を記入し提出していただきます。

4 入札額について

入札金額は、消費税及び地方消費税（相当額）を含まない額としてください。

※ 消費税及び地方消費税（相当額）は契約の段階で加算します。

5 開札日時：令和6年8月1日（木）午前11時

本件は、電子入札案件です。

入札は、令和6年7月30日（火）午後5時から令和6年8月1日（木）午前11時までの間に、電子入札共同運営システムにより行ってください。その際には、必ず入札内訳書を添付してください。

なお、同システムは毎日午前9時から午後8時までの間に利用できます。（土曜・日曜日、祝日を除く。）

6 再入札について

第1回目の入札に付し予定価格を超過していた場合、再入札に移行します。再入札についても、「電子入札共同運営システム」により入札書を提出してください。

なお、再入札の期限は、令和6年8月2日（金）午前11時、入札不調による見積書提出期限も同日を予定しておりますので、あらかじめご承知おきください。

7 契約保証金について

落札された場合、本契約と同時に、契約金額の100分の10以上の額の契約保証金を納付してください。

ただし、保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結しその保険証書を契約保証金に代えて提出する場合、「様式8（第5の16関係）誓約書（契約保証金の免除についての誓約書）」を提出する場合、契約金額が200万円以下の場合等は、契約保証金を免除します。

※この注意事項は、入札希望者の便宜を図るために作成した参考資料です。

各入札者においては、必ず入札公告・入札説明書・仕様書等を熟読・確認のうえ、必要書類を作成・提出願います。

○ 入札に関する質問先：【契約事務担当者】 兵庫県出納局物品管理課物品班 久佐賀
TEL：078-341-7711（内線4937） FAX：078-362-3928
メールアドレス：Yukimi_Honda@pref.hyogo.lg.jp
○ システムに関する質問先：【兵庫県物品調達ヘルプデスク】
TEL：0120-554-538 平日（月曜～金曜日）の午前9時から午後5時まで（正午から午後1時までを除く）

契 約 書 (案)

- 1 品 名 障害物回避を補助する道路除雪支援システム 一式
- 2 規格 (形式) 仕様書のとおり
- 3 数 量 仕様書のとおり
- 4 契約金額 ￥ —
(うち消費税及び地方消費税の額 ￥ —)
- 5 納入期限 令和6年11月30日 (土)
- 6 納入場所 但馬県民局豊岡土木事務所 他2箇所 (詳細は仕様書のとおり)
- 7 契約保証金
- 8 納入の方法 兵庫県の指示による

兵庫県 (以下「甲」という。) と (以下「乙」という。) とは、
上記物品の納入について、次の条項に従うほか、関係法令を遵守し、信義誠実の原則を守り、これを履行するものとする。

(総 則)

第1条 乙は、甲の示す仕様書及び図面又は見本に基づいて、頭書の納入期限内に物品を納入しなければならない。

2 乙は、納入すべき物品について品質が明らかでなく、又は特別の指示をうけてないときは、高級な品質を有するものを納入しなければならない。

3 乙は、仕様書及び図面又は契約条件に明示されていない事項について、物品の納入に当然必要なことは、甲の指示によらなければならない。

(検 査)

第2条 乙は、物品を納入しようとするときは、納品書正副2通を提出し、立ち会いの上、甲の検査を受けなければならない。

2 検査に要する費用及び検査による変質、変形又は消耗及び損傷した物品の修繕等の費用はすべて乙の負担とする。

3 乙は、第1項に規定する検査に立ち会わなかったときは、検査の結果につき、異議を申し立てることができないものとする。

(手直し、補強又は取換え)

第3条 乙は、納入物品が不良のため、前条第1項の検査に合格しなかったときは、甲の指定した期限内にこれを手直しし、補強し、又は取り換えて検査を受けなければならない。

(給付の完了)

第4条 甲は、検査に合格した物品につき、その引渡しを受けるものとする。

2 物品の容器、包装等は、特に定める場合を除き、甲の所有とする。

(危険負担)

第5条 物品の納入前に生じた損害は、すべて乙の負担とする。ただし、その損害のうち甲の責に帰すべき

理由により生じたものについては、甲が負担する。

(契約不適合責任)

第6条 甲は、納入した物品に種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しない状態（以下「契約不適合」という。）があるときは、その修補、代替物の引渡し、不足物の引渡しによる履行の追完を請求することができる。ただし、乙は、甲に不相当な負担を課するものでないときは、甲が請求した方法と異なる方法による履行の追完をすることができる。

2 前項に規定する場合において、甲は、同項に規定する履行の追完の請求（以下「追完請求」という。）に代え、又は追完請求とともに、損害賠償の請求及び契約の解除をすることができる。

3 第1項に規定する場合において、甲が相当の期間を定めて履行の追完の催告をし、その期間内に履行の追完がないときは、甲は、その不適合の程度に応じて代金の減額を請求することができる。この場合において、代金の減額の割合は納入日を基準とする。

4 追完請求、前項に規定する代金の減額請求（以下「代金減額請求」という。）、損害賠償の請求及び契約の解除は、契約不適合が甲の責に帰すべき理由によるものであるときはすることはできない。

5 甲が契約不適合（数量に関する契約不適合を除く。）を知った時から1年以内にその旨を乙に通知しないときは、甲は、その不適合を理由として、追完請求、代金減額請求、損害賠償の請求及び契約の解除をすることができない。ただし、乙が引渡しの時にその不適合を知り、又は重大な過失によって知らなかったときは、この限りでない。

(権利、義務の譲渡禁止)

第7条 乙は、この契約により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、甲の書面による承認を得た場合は、この限りでない。

(代金の支払等)

第8条 甲は、この契約に基づく給付の完了を確認した後、乙の適正な支払請求書を受理した日から30日以内に契約金額を支払うものとする。ただし、特別の理由がある場合においては、この限りでない。

(分納)

第9条 乙は、甲の要求があったときは、物品の数量を分割して納入するものとする。

2 乙は、前項の規定により、分割納入したときは、甲に既納部分の範囲内において代価を請求することができる。

(乙の請求による契約履行期限の延長)

第10条 乙は、天災地変、その他やむを得ない理由により、契約の履行期限内に物品を納入することができないときは、甲に対して、遅滞なく、その理由を明らかにした書面により、期限の延長を求めることができる。この場合において、甲が正当と認めるときは、甲、乙協議して書面により延長日数を定めるものとする。

(契約の解除)

第11条 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当する場合においては相当の期間を定めてその履行の催告をし、その期間内に履行がないときは、この契約を解除することができる。ただし、その期間を経過した時における債務の不履行がこの契約及び取引上の社会通念に照らして軽微であるときは、この限りでない。

(1) 契約の履行期限内に契約を履行しないとき、又は契約を履行する見込みがないと明らかに認められるとき。

(2) 正当な理由なく、第6条第1項の履行の追完がなされないとき。

(3) 乙又はその代理人その他の使用人が検査を妨げたとき。

第11条の2 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当する場合においては、直ちにこの契約を解除することができる。

(1) 法令の規定により、営業に関する許可を取り消され、又は営業の停止を命じられたとき。

(2) 乙又はその代理人が、関係法令又は契約事項に違反し、そのため契約の目的を達することができない、又は契約を継続することが適当でないとき。

(3) 乙又はその代理人、支配人その他の使用人若しくは入札代理人として使用していた者が、この契約の入

札に関して地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第2項第2号に該当すると認めるとき。

第11条の3 甲は、第11条各号又は前条各号に規定する場合は甲の責に帰すべき理由によるものであるときは、前2条の規定による契約の解除をすることができない。

2 甲は、前2条に規定する場合のほか、特に必要があるときは、この契約を解除することができる。

3 前2条の規定による解除に伴い、乙に損害が生じたとしても、乙は甲に対してその損害の賠償を請求することはできない。

4 甲は、前2条の規定により、この契約を解除したときは、乙の請求により既納部分の代価を支払って当該部分の所有権を取得するものとする。

5 前2条の規定により、この契約を解除した場合においては、乙は契約金額の10分の1に相当する額を違約金として甲の指定する期限までに甲に支払わなければならない。ただし、この契約を解除した場合が、この契約及び取引上の社会通念に照らして乙の責に帰することができない理由によるものであるときは、この限りでない。

6 前項の場合において、契約保証金の納付又はこれに代わる担保の提供が行われているときは、甲は、当該契約保証金又は担保をもって違約金に充当することができる。

7 甲は、この契約を解除しようとするときは、その理由を記載した書面により、乙に通知するものとする。
（暴力団等の排除）

第12条 甲は、次条第1号の意見聴取又は警察からの通報により、乙が次の各号のいずれかに該当する者（以下「暴力団等」という。）であると判明したときは、特別の事情がある場合を除き、契約を解除するものとする。

(1) 暴力団排除条例（平成22年兵庫県条例第35号）第2条第1号に規定する暴力団及び第3号に規定する暴力団員

(2) 暴力団排除条例施行規則（平成23年兵庫県公安委員会規則第2号）第2条各号に規定する暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者

2 前条第3項から第7項の規定は、前項の規定による契約の解除に準用する。

第13条 甲は、必要に応じ、次の各号に掲げる措置を講ずることができるものとする。

(1) 乙が暴力団等であるか否かについて兵庫県警察本部長に意見を聴くこと。

(2) 前号の意見の聴取により得た情報を、他の契約において暴力団等を排除するための措置を講ずるために利用し、又は兵庫県公営企業管理者及び兵庫県病院事業管理者に提供すること。

第14条 乙は、この契約の履行に当たり、暴力団等から業務の妨害その他不当な要求を受けたときは、甲にその旨を報告するとともに、警察に届け出て、その捜査等に協力しなければならない。

（適正な労働条件の確保）

第15条 乙は、この契約における労働者の適正な労働条件を確保するため、別記「適正な労働条件の確保に関する特記事項」を守らなければならない。

（履行遅延の場合の違約金）

第16条 乙は、その責めに帰すべき理由により、契約の履行期限内に物品を納入しないときは、契約の履行期限の翌日から履行の日までの日数に応じ、契約金額につき年10.75パーセントの割合で計算した額を違約金として甲の指定する期限までに甲に支払わなければならない。

2 乙は、第3条の手直し、補強又は取替えが指定期限後にわたるときは、前項に基づき違約金を支払わなければならない。

3 前各項の違約金徴収日数の計算については、検査に要した日数は、これに算入しないものとする。

（賠償の予約）

第17条 乙は、乙又はその代理人、支配人その他使用人若しくは入札代理人として使用していた者が、この契約の入札に関して次の各号のいずれかに該当したときは、契約金額の10分の2に相当する額を賠償金として甲が指定する期限までに甲に支払わなければならない。物品の納入後も同様とする。

(1) 刑法（明治40年法律第45号）第96条の6による刑が確定したとき。

(2) 刑法第198条による刑が確定したとき。

(3) 公正取引委員会が、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。）第61条第1項の規定による排除措置命令を行ったとき。ただし、排除措置命令に対し、行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）第3条第1項の規定により抗告訴訟を提起した場合を除く。

(4) 公正取引委員会が、独占禁止法第62条第1項の規定による課徴金納付命令を行ったとき。ただし、課徴金納付命令に対し、行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）第3条第1項の規定により抗告訴訟を提起した場合を除く。

(5) 前2号の抗告訴訟を提起し、その訴訟について請求棄却又は訴え却下の判決が確定したとき。

2 前項の規定は、甲に生じた損害の額が同項に規定する賠償金の額を超える場合において、甲がその超過分につき賠償を請求することを妨げるものではない。

(契約の変更、中止)

第18条 甲は、必要があると認めるときは、乙に対して、書面による通知により契約の内容を変更し、又は中止させることができる。この場合において、契約金額又は納入期限を変更する必要があると認めるときは、甲、乙協議して書面によりこれを定めるものとする。

(事情の変更)

第19条 契約の締結後において、予期することのできない経済情勢の変動等により、契約金額が著しく不当と認められる事情が生じたときは、甲、乙協議の上、契約金額その他の契約内容を変更することができる。

(調査への協力)

第20条 甲は、この契約に係る甲の適正な予算執行を検証するため、必要があると認めた場合は、乙に対し、甲が行う調査に必要な物品の出納に関する帳簿の閲覧又は情報の提供等の協力を要請することができる。

2 乙は、甲から前項の要請があった場合は、特別な理由がない限りその要請に応じるものとし、この契約の終了後も、契約終了日の属する県の会計年度を含む6会計年度の間は同様とする。

(協 議)

第21条 この契約について疑義のあるとき、又はこの契約に定めのない事項については、財務規則（昭和39年兵庫県規則第31号）によるほか、甲、乙協議の上、定めるものとする。

この契約の証として、本書2通を作成し、甲、乙記名押印の上、各自その1通を保有する。

令和 年 月 日

甲 兵 庫 県 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

兵庫県知事 齋藤 元彦

乙 住 所
会 社 名
代 表 者 名

【適正な労働条件の確保に関する特記事項】

(基本的事項)

第1 乙は、別表に掲げる労働関係法令（以下「労働関係法令」という。）を遵守することにより、次の各号のいずれかに該当する労働者（以下「特定労働者」という。）に対する最低賃金法（昭和34年法律第137号）第3条に規定する最低賃金額（同法第7条の規定の適用を受ける労働者については、当該最低賃金額から同条の規定により減額した額。以下「最低賃金額」という。）以上の賃金の支払その他の特定労働者の適正な労働条件を確保しなければならない。

(1) 乙に雇用され、この契約に基づく業務に関わっている労働基準法（昭和22年法律第49号）第9条に規定する労働者（当該業務に直接従事しない者や家事使用人を除く。）

(2) 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和60年法律第88号。以下「労働者派遣法」という。）の規定により、乙のためにこの契約に基づく業務に関わっている労働者（以下「派遣労働者」という。当該業務に直接従事しない者を除く。）

2 乙は、当該者を発注者とする下請契約を締結する場合においては、この特記事項の第1から第5までの規定に準じた規定を当該下請契約に定めなければならない。

(受注関係者に対する措置)

第2 乙がこの契約に基づく業務の一部を第三者に行わせようとする場合の当該受託者及び当該契約に基づく業務に派遣労働者に関わらせようとする場合の当該派遣契約の相手方（以下「受注関係者」という。）は、労働関係法令を遵守することを誓約した者でなければならない。

2 乙は、前項の場合において、その契約金額（同一の者と複数の契約を締結した場合には、その合計金額）が200万円を超えるとときは、当該受注関係者から労働関係法令を遵守する旨等を記載した誓約書を徴取し、その写し（第1の第2項の規定により、この項に準じて下請契約等に定めた規定により提出させた誓約書の写しを含む。）を甲に提出しなければならない。

3 乙は、受注関係者又は下請その他いかなる名義によるかを問わず県以外の者から、この契約に係る業務の一部について請け負った者（以下「下請関係者」という。）が労働関係法令を遵守していないと認めるときは、当該受注関係者に対し、指導その他の特定労働者（下請関係者に雇用され、この契約に基づく業務に関わっている労働者を含む。以下同じ。）の適正な労働条件を確保するために必要な措置を講じなければならない。

4 乙は、受注関係者が次の各号のいずれかに該当するときは、当該受注関係者と締結している契約を解除しなければならない。

(1) 乙に対し 第4の第4項、第5の第3項若しくは第4項の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。

(2) 特定労働者に対する賃金の支払について、最低賃金法第4条第1項の規定に違反したとして、検察官に送致されたとき。

(特定労働者からの申出があった場合の措置)

第3 甲は、特定労働者から、乙又は下請関係者が特定労働者に対して最低賃金額以上の賃金を支払っていない旨の申出があった場合においては、当該申出の内容を労働基準監督署に通報するものとする。

2 甲は、前項の場合においては、必要に応じ、乙に対し、労働基準監督署への通報に必要な情報について報告を求めることができる。

3 乙は、前項の報告を求められたときは、速やかに甲に報告しなければならない。

4 乙は その雇用する特定労働者が第1項に規定する申出をしたことを理由として、当該特定労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしてはならない。

5 乙は、第1項に規定する特定労働者が下請関係者に雇用されている場合において、第2項の報告を求められたときは、受注関係者に対して確認を行い、当該確認の結果を甲に報告しなければならない。

6 乙は、下請関係者に雇用されている特定労働者が第1項に規定する申出をしたことを理由として、当該下請関係者が当該特定労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないよう、受注関係者に求めなければならない。

7 甲は、必要に応じ、労働基準監督署に対し、第3項、第5項、第4の第2項、第4項及び第5の各項の規定による甲に対する報告により得た情報を提供することができる。

(労働基準監督署から意見を受けた場合の措置)

第4 甲は、労働基準監督署から乙に雇用されている特定労働者の賃金が最低賃金額に達しない旨の意見を受けたときは、乙に対し、当該特定労働者に最低賃金額以上の賃金の支払を行うことを求めるものとする。

2 乙は、前項の規定により賃金の支払を行うよう求められたときは、甲が定める期日までに当該支払の状況を甲

に報告しなければならない。

3 甲は、労働基準監督署から下請関係者に雇用されている特定労働者の賃金が最低賃金額に達しない旨の意見を受けたときは、乙に対し、当該特定労働者に最低賃金額以上の賃金の支払を行う旨の指導を受注関係者に行うことを求めるものとする。

4 乙は、前項の規定により指導を行うよう求められたときは、同項の受注関係者に対して同項の賃金の支払の状況の報告を求めるとともに、甲が定める期日までに当該報告の内容を甲に報告しなければならない。

(労働基準監督署から行政指導があった場合の措置)

第5 乙は、労働基準監督署長又は労働基準監督官から特定労働者に対する賃金の支払における最低賃金法の違反について行政指導を受けた場合においては、速やかに当該行政指導を受けたこと及びその対応方針を甲に報告しなければならない。

2 乙は、前項の場合において、同項の違反を是正するための措置（以下「是正措置」という。）を行い、その旨を労働基準監督署長又は労働基準監督官に報告したときは、速やかに是正措置の内容を甲に報告しなければならない。

3 乙は、下請関係者が第1項の行政指導を受けた場合においては、受注関係者に対して速やかに当該行政指導を受けたこと及びその対応方針について報告を求めるとともに、当該報告の内容を甲に報告しなければならない。

4 乙は、前項の場合において、同項の下請関係者が是正措置を行い、その旨を労働基準監督署長又は労働基準監督官に報告したときは、受注関係者に対して速やかに当該是正措置の報告を求めるとともに、当該報告の内容を甲に報告しなければならない。

(契約の解除)

第6 甲は、次の各号のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

(1) 乙が、甲に対し 第4の第2項、第5の第1項若しくは第2項の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。

(2) 乙が、甲に対し 第4の第4項、第5の第3項若しくは第4項の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。（乙が、第2の第1項の誓約をした受注関係者に対して、第4の第3項に規定する指導及び第4の第4項、第5の第3項又は第4項の規定による報告の求めを行ったにもかかわらず、当該受注関係者が乙に対して当該報告をせず、又は虚偽の報告をしたときを除く。）

(3) 特定労働者に対する賃金の支払について、乙又は受注関係者が最低賃金法第4条第1項の規定に違反したとして、検察官に送致されたとき。（乙が第2の第4項の規定により、当該受注関係者と締結している契約を解除したときを除く。）

(損害賠償)

第7 乙は、第6の規定による契約の解除に伴い、損害が生じたとしても、甲に対してその損害の賠償を請求することはできない。

(違約金)

第8 乙は、第6の規定により契約が解除された場合は、違約金を甲の指定する期限までに甲に支払わなければならない。

別表（第1関係）

労働関係法令

- (1) 労働基準法（昭和22年法律第49号）
- (2) 労働組合法（昭和24年法律第174号）
- (3) 最低賃金法（昭和34年法律第137号）
- (4) 労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）
- (5) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（昭和47年法律第113号）
- (6) 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和60年法律第88号）
- (7) 短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律（平成5年法律第76号）
- (8) 労働契約法（平成19年法律第128号）
- (9) 健康保険法（大正11年法律第70号）
- (10) 厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）
- (11) 雇用保険法（昭和49年法律第116号）
- (12) 労働保険の保険料の徴収等に関する法律（昭和44年法律第84号）

誓約書

下記1の契約（以下「本契約」という。）に基づく業務に従事する労働者の適正な労働条件を確保するため、下記2の事項を誓約する。

記

1 契約名

障害物回避を補助する道路除雪支援システム一式の購入

2 誓約事項

- (1) 本契約に基づく業務に関わっている労働者に対し最低賃金額以上の賃金の支払を行うこと、及び別表に掲げる労働関係法令を遵守すること。
- (2) 本契約に基づく業務に関わっている労働者に対する賃金の支払について次に該当するときは、速やかに県へ報告を行うこと。
 - ア 県から最低賃金額以上の賃金の支払を行うよう指導を受けその報告を求められたとき。
 - イ 労働基準監督署から最低賃金法の違反について行政指導を受けたとき。
 - ウ 労働基準監督署に上記イの是正の報告を行ったとき。
- (3) 本契約に基づく業務の一部を他の者に行わせようとする場合及び派遣労働者を関わらせようとする場合にあっては、最低賃金額以上の賃金の支払及び労働関係法令の遵守を誓約した者を受託者とし、その契約金額（同一の者と複数の契約を締結した場合には、その合計金額。）が200万円を超えるときは、この誓約書に準ずるものとして別に県が定める誓約書を提出させ、その写しを県に提出すること。
- (4) 受託者が労働関係法令を遵守していないと認めるときは、当該受託者に対し、指導その他の労働者の適正な労働条件を確保するために必要な措置を講ずること。
- (5) 本契約に基づく業務において、次のいずれかに該当するときに県が行う本契約の解除、違約金の請求その他県が行う一切の措置について異議を唱えないこと。
 - ア 県に対し、上記(2)の報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。
 - イ 最低賃金法第4条第1項の規定に違反したとして、検察官に送致されたとき。

令和 年 月 日

兵庫県知事 様

住 所
名 称
代表者職氏名
電 話 番 号 () - 番
電 子 メ ー ル

別表（誓約事項(1)関係）

労働関係法令

- (1) 労働基準法（昭和22年法律第49号）
- (2) 労働組合法（昭和24年法律第174号）
- (3) 最低賃金法（昭和34年法律第137号）
- (4) 労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）
- (5) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（昭和47年法律第113号）
- (6) 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和60年法律第88号）
- (7) 短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律（平成5年法律第76号）
- (8) 労働契約法（平成19年法律第128号）
- (9) 健康保険法（大正11年法律第70号）
- (10) 厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）
- (11) 雇用保険法（昭和49年法律第116号）
- (12) 労働保険の保険料の徴収等に関する法律（昭和44年法律第84号）

誓約書

暴力団排除条例（平成22年兵庫県条例第35号。以下「条例」という。）を遵守し、暴力団排除に協力するため、下記のとおり誓約する。

記

- 1 条例第2条第1号に規定する暴力団、又は第3号に規定する暴力団員に該当しないこと
- 2 暴力団排除条例施行規則（平成23年兵庫県公安委員会規則第2号）第2条各号に規定する暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者に該当しないこと
- 3 上記1及び2に違反したときには、本契約の解除、違約金の請求その他県が行う一切の措置について異議を唱えないこと

令和 年 月 日

兵庫県知事 様

住 所

会 社 名

代表者名

電話番号 () ー 番

電子メール

兵庫県内に有する事業所等に関する申告書

令和 年 月 日

兵庫県知事 様

所在地

商号又は名称

代表者名

電話番号

メールアドレス

案件名 「障害物回避を補助する道路除雪支援システム一式の購入」

上記の一般競争入札に参加するに当たり、下記のとおり申告します。

記

- 1 県内に有する事業所等の名称 _____
- 2 県内に有する事業所等の所在地 _____
- 3 県内に有する事業所等の代表者 _____

※ 留意事項

- 1 この申告書は、一般競争入札に参加しようとする者で、兵庫県内に事業所等を有する者のうち、県の入札参加資格者名簿の「取引を希望する支店・営業所等」に兵庫県内の事業所を登録していない者のみ提出が必要です。
- 2 この申告書は、原則として一般競争入札への参加申込時に提出すること。また、契約担当者から提出を求められた場合は、速やかにこれを提出すること。

様式 8 (第 5 の 16 関係)
(誓約書)

誓 約 書

下記 1 の契約 (以下「本契約」という。)に係る契約保証金の免除について、下記 2 の事項を誓約する。

記

1 契約名

障害物回避を補助する道路除雪支援システム一式の購入

2 誓約事項

次の契約について、すべて誠実に履行したこと。

契約履行年月日	契 約 名	契約金額	契約の相手方

本契約についても、誠実に履行すること。

上記 及び に違反したときには、本契約の解除、違約金の請求その他県が行う一切の措置について異議を述べないこと。

令和 年 月 日

兵庫県知事 様

所 在 地
名 称
代表者職氏名
電 話
電 子 メ ー ル